

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会(第6回新大阪駅東口まちづくり部会)  
議事概要

日 時：令和4年2月24日(木)午後7時～午後7時30分まで

場 所：東淀川区役所出張所3階多目的室 ※Web会議を併用

【議事】

1 開会・部会長挨拶

2 議題

- (1) 新大阪駅東口まちづくりの考え方・アンケート結果について
- (2) 新大阪駅東口まちづくりの考え方～まちづくりビジョン検討案～について
- (3) 今後の進め方について
- (4) その他

3 閉会

《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ 資料1 アンケート資料
- ・ 資料2 新大阪駅東口まちづくりの考え方・アンケート結果
- ・ 資料3 新大阪駅東口まちづくりの考え方【対比表】
- ・ 資料4 新大阪駅東口まちづくりの考え方～まちづくりビジョン検討案～
- ・ 資料5 今後の進め方について

1. 開会・部会長挨拶

2. 議題

(1) 新大阪駅東口まちづくりの考え方・アンケート結果について

(事務局)

- ・ アンケート資料(資料1)は昨年12月に開催した部会資料を基本として作成した。また、これまでの議論を反映し、新大阪駅東口地域の歴史についての資料を追加し、誰が見ても内容を理解していただけるようできる限り判り易い表現に改め、説明を書き加えている。
- ・ アンケートは大阪市行政オンラインシステムで実施した。実施期間は1月28日から2月13日までの17日間で、まちづくりの考え方を閲覧いただけるよう、資料1を添付した。また、幅広く意見を求めるため、対象者については、限定せずに実施した。
- ・ アンケートの設問内容は簡潔にまとめ、システムへの個人情報の登録を利用しない手法を採用し、スマートフォンでも手間をかけずに回答できる方法を採用した。
- ・ 設問内容は①回答者の年齢と居住地、②新大阪駅の利用頻度とその主な目的、③まちづくりの3つのテーマが示す目標、目指すべき姿について、④まちづくりの考え方全般についての意見、⑤新大阪駅東口にあったらいいなと思う施設や機能を設問と設定した。①～③は選択式、④は自由意見、⑤は複数選択式とした。
- ・ アンケートの周知は、①区役所HPやSNSを活用し情報発信するとともに、②区役所や出張所、青少年センター、また、JR西日本の協力を得てアンケートの案内チラシを配架させていただいた。
- ・ 回答者の総数は、87件と多く方の回答を得た。居住地については、回答者の多くは東淀川区内となり、区内の地域別集計では、検討範囲に近接する東中島、淡路、西淡路の住民の方からの回答が約半数となった。

- ・回答者の新大阪駅の利用頻度や目的としては、最寄り駅としての利用者が多かった。
- ・まちづくりの考え方に対する主な3つ意見とその対応をまとめた。主な意見として1つはまちの現状について、2つ目はまちづくりのイメージについて、3つ目はまちづくり検討の進め方についてであった。
- ・多くの意見があったので、一例とその対応について紹介する。まちの現状については、「さびれた雰囲気や暗いイメージがある」という意見に対して、「地域の活性化を図り、にぎわいと交流を目指したまちづくりを検討している」という見解を示している。
- ・二つ目のまちづくりのイメージについては、「地域や新大阪を訪れる人々がつい立ち寄りたくなるような、明るく魅力的な街にして欲しい」という意見に対して、「玄関口にふさわしく、人が集まるための環境の強化を図り、人々が行き交い、各地から集まり、地域の人々と豊かにつながりあえる交流の場を検討しています」としている。
- ・三つ目のまちづくり検討の進め方については「確実な実施が地域の活性化のために重要と考えます」という意見に対して、「着実に検討を進め、実行に移すことが重要」との考え方を示している。また、「全国へ発信するのではなく全国から人を受け入れる懐の深さを表現したら」との意見に対しては「【全国へ】の表現が一方的でしたので【全国と】に修正し双方向のつながりを表現する」としている。
- ・最後に、駅東口にあつたらいいなと思う施設（機能）については、オフィス／商業施設が3割を占め、次いで遊興・娯楽施設、学校等の文教施設となった。

### **(意見、質疑応答等)**

#### **(部会員)**

- ・アンケートの回答数は「87」とありましたが、この数字は多いものなのか。

#### **(事務局)**

- ・アンケートの回答数について多いか少ないかにつきまして、難しい扱いになるが、西部地域バリアフリーまちづくり構想策定時に実施したパブリックコメントでは寄せられた意見が1桁だった実績を踏まえると、多かったという印象である。また、今回は千差万別、色々な意見が多く、色々な方々から意見を頂けたと思っている。

#### **(部会員)**

- ・行政の見解については、ホームページ等で公開しているのか。

#### **(事務局)**

- ・本部会での説明が初出しで、行政の回答は頂いた意見に対してこのように対応できるのではないかという案として示している。

#### **(部会長)**

- ・久教授アドバイス等ありましたらお願いします。

#### **(久教授)**

- ・このアンケート結果を踏まえて、どのように反映したのかは事務局から説明があると思う。

- ・地域からの質問の補足だが、回答者の属性の年代別の箇所を見ると今回のアンケートの特徴が表れていると思う。回答者の割合で30代、40代という比較的若い世代の回答が多いのは、ネットを使ったアンケートの特徴である。ビジョンにしっかりと、活用して貰いたい。

## **(2) 新大阪駅東口まちづくりの考え方～まちづくりビジョン検討案～ について**

### **(事務局)**

- ・アンケート結果のまちづくりの考え方への修正内容について、資料内の「地域とつながり全国へつながる」としていたタイトルについて、「全国へ発信するのではなく、全国から人を受け入れる懐の深さを表現したら」との意見をいただいた。事務局としては「全国へ」の表現が一方的だったので、「全国と」に修正し、「全国から」「全国へ」の双方向のつながりを表現に改めた。
- ・次に、未利用地の活用方策について、民間活力を活用する内容の記述が漏れていたもので、誤解のないようそれぞれの項に書き加えた。
- ・以上を反映した新大阪駅東口まちづくりの考え方～まちづくりビジョン検討案～を資料4として配付し、修正箇所については朱書きで示している。

### **(意見、質疑応答等)**

- ・特になし

### **(事務局)**

- ・久教授の先ほどのアンケートをどのように活用したのかについて、補足する。アンケートで具体的にどのような施設が欲しいのか等の意見については、今回の「まちづくりの考え方」を修正し、次の検討の段階で活用したいと考えている。

### **(部会長)**

- ・久教授、只今の補足も含めてアドバイス等ありましたらお願いします。

### **(久教授)**

- ・地域の方々の意見は特に重要だと思っている。まちづくりの考え方については、特に意見が無いということなので、大きな方向としてはこのまま進めて貰えればと思う。先ほどの補足で述べられていたように、次の段階で様々な主体の方々がどのような形で進めていけるのか時間をかけて検討して貰いたい。

## **(3) 今後の進め方について**

### **(事務局)**

- ・今回、確認したまちづくりの考え方に沿ったまちづくりの実現に向けて、検討対象用地の活用方策の検討、新大阪駅東口まちづくり基本計画の検討、パブリックコメントの実施を進めていきたいと考えている

### **(質疑応答)**

- ・特になし

## **(4) その他**

- ・特になし

### **(部会長)**

- ・特に意見がないようなので、閉会に進めたいと思う。本日、新大阪駅東口のまちづくりビジョンに向けた今後の進め方について確認をいただいた。また、北陸新幹線やリニア中央新幹線計画の具体化などのタイミングを踏まえてビジョンを更新し、状況に応じたまちづくりを進めていく必要があると考えている。
- ・今後、まちづくりの考え方に沿って、検討対象用地の活用方策の検討や、まちづくり基本計画の検討などを経て、パブリックコメントを実施し、まちづくりビジョンの具体化に向けて、部会員の方の意見をいただきながら検討を進めていきたいと思っている、ご理解のほどお願いしたい。

### **3. 閉会**

---

#### **(事務局)**

- ・次回の部会開催は、事務局より改めて、連絡を差し上げる。

以上